

講座No.
2002

《Zoom 配信》 10:00～11:30

全3回



コロナ禍からみえてくるいま —SDGs「誰一人取り残さない」世界は実現できるのか

WHO が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言して半年以上が経過しましたが。新型コロナウイルスの感染は拡大の一途をたどっています。これまでに70万人以上の命が奪われたほか、暮らしを脅かされたり、暴力にさらされたりしている人びとが多く存在します。人びとの命と権利を守り、社会の崩壊や経済的困窮の広がりを防ぐため、わたしたちはどのような社会を選択するのでしょうか。人間の尊厳を基本的な価値とする社会を実現するため、ともに考えていただければ幸いです。

-
- 1 10月29日(木) 弱者が取り残される社会—移民労働者の事例から

 - 2 11月5日(木) 民主主義の危機—各国のウイルス感染拡大対策から

 - 3 11月12日(木) わたしたちが選択する社会のありかたを考える
-

講師

佐伯 奈津子

名古屋学院大学国際文化学部准教授。

名古屋 NGO センター政策提言委員。インドネシアを中心に東南アジアと日本の関係を研究、東海圏のインドネシア人支援もおこなっています。

講義の対象

興味のある方ならどなたでも

定員

30名

受講料

3,000円